

## 平成29年度美馬市・つるぎ町障害者自立支援協議会全体会議議事録

開催日時：平成30年2月13日（火）午後1時30分開会

開催場所：小星園地域交流センター

参加機関：徳島県障がい者相談支援センター、西部総合県民局、美馬保健所、障害者支援施設小星園、障害者支援施設かしかおか、障害者支援施設ルキーナ・うだつ、障害者就業・生活支援センターはくあい、美馬心の健康を考える会やよい寮、美馬市身体障害者連合会、つるぎ町身体障害者連合会、美馬市手をつなぐ育成会、美馬つるぎ心身障害児(者)父母の会、県西中央部親の会、美馬市民生委員児童委員協議会、つるぎ町民生委員児童委員協議会、国府支援学校、池田支援学校、池田支援学校美馬分校、つるぎ町教育委員会、美馬市特別支援連携協議会、つるぎ町特別支援連携協議会、池田学園、折野病院、美馬市社会福祉協議会、つるぎ町社会福祉協議会、美馬市保険健康課、つるぎ町保健センター、美馬市建設課、美馬市子どもすこやか課、美馬市福祉事務所

事務局：美馬市長寿・障がい福祉課、つるぎ町福祉課、障害者支援センター小星園、障害者支援センターかしかおか、相談支援センターイノセント、地域活動支援センターまいか、障害者就業・生活支援センターはくあい

### 1. 開会

(美馬市長寿・障がい福祉課 藤村課長)

### 2. あいさつ

(美馬市福祉事務所 川口所長)

皆さん、こんにちは。ただいま紹介をいただきました、美馬市福祉事務所長の川口でございます。本日は、平成29年度美馬市・つるぎ町障がい者自立支援協議会全体会のご案内をいたしましたところ、皆様方には、大変お忙しい中をご出席頂き、誠にありがとうございます。また、日頃は、それぞれの立場で、障がい福祉行政に、ご支援・ご協力を頂いておりますことに対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、本会は、障がい者相談支援事業の効果的な運営及び地域の障がい福祉のシステムづくりに関し、中核的な役割を果たす協議の場として設置されています。そして、中立・公平な立場で適切な相談支援事業が実施できる体制の整備を図るとともに、地域の事業者・医療・教育等の関連する各分野の関係機関の連携強化と、社会資源の開発・改善等を推進し、公共福祉の増進を図ることを目的としております。

これまでの間、実務担当者等により開催しております「定例支援会議」や「専門部会」「個別支援会議」等において、課題解決に向けた情報交換・意見交換を行い、関係機関の連携を深めていただいているところでございます。

また、地域共生社会の実現に向けた取り組みも進み始め、障がい者施策分野においても、総合支援法改正を中心に、より一層取り組みの推進が求められています。

このような状況の変化に合わせ、1期6年とする「障害者基本計画」と、3年毎に策定している「障害福祉計画」があり、計画的な障がい者施策の推進を行ってきました。現行

の計画期間が終了することから、これまでの計画の進捗状況及び目標数値を検証し、国や県の指針や近年行われた障害者制度改革を踏まえて、次期「障害者基本計画」及び「障害福祉計画」の策定をすすめています。

一人一人が障害について理解し、障害を理由とした不当な区別や制限といった差別に気づき、平等に暮らせる地域社会をつくり、協議会のさらなる発展に期待しております。

このあと、各支援機関及び部会等から、一年間の実施状況の報告をいただきますが、障がいのある方が、地域で自立し、あたりまえに暮らすためには、どのような支援、関わりが必要なのかなど、忌憚のないご意見をいただきながら、新たな提案や課題提起を元に、さらに障がいの、自立支援向上に繋げて参りたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

最後に、本日、ご出席の皆様方には、今後とも、障がい者福祉の向上のためにご活躍されますと共に、ご協力をよろしくお願い申し上げまして、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。

〈協議会要綱第5条により、美馬市福祉事務所 川口所長が議長となる。〉

### 3. 議題

#### (1) 自立支援協議会の構成及び定例支援会議実施状況報告

(事務局 近藤)

- ・資料を基に自立支援協議会の構成、平成29年3月から平成30年1月までに開催された定例支援会議の実施状況を報告。
- ・外部から講師を招いて研修会を行っている。今年度は11/14に成年後見制度に関する研修会を開催した。

#### (2) 相談支援状況報告

##### **障害者支援センター 小星園**

(大垣相談支援専門員)

相談は身体障害者が多く、最近の傾向では障害者手帳を取得しているが、介護保険の対象とならない高齢者で障害福祉サービスの通院等乗降介助を希望する方や、透析で通院を希望する方が増えてきている。その反面障害福祉サービスを使っている方が65歳を越えると介護保険が優先となり移行する方もいるため、計画数はあまり変わらない。

平成29年1月～12月までに開催された個別支援会議は延べ65回。精神科病院へ入院していた方の退院後の生活の場所について情報提供を行い、グループホームへの入居が決まったケース(小-1112)について報告。課題として山間部で移動に時間がかかる地域は、受け入れてくれる介護タクシー事業所が少ないことを挙げた。

(吉永相談支援専門員)

平成29年1月～12月までに開催された個別支援会議は延べ53回。

24時間酸素をし適宜吸引が必要な方のケース(小-141)を報告。

課題として、24時間酸素や痰吸引等の医療的ケアが必要な方の場合、家族の負担軽減のための短期入所の受け入れ先がないことを挙げた。

#### **障害者支援センター かしがおか**

(篠原相談支援専門員)

平成29年1月～12月までに開催された個別支援会議は延べ173回。

本年度は障害者支援施設かしがおか入所者の計画更新時期であり、個別支援会議の回数が多くなっている。相談の対象者は知的障害者や障害児が主。最近では就労継続支援事業所が増加し、利用者が就労しやすくなっており計画相談も増加している。課題として挙げたのは特例介護給付費の内容や、放課後等デイサービスの利用状況について確認させてもらった。

高血圧と糖尿病の持病があるが、居宅介護サービスで定期通院や服薬確認の支援を受け、病状は安定している。生活費のやりくりができず知人に借金を繰り返している方のケース(か-44)を報告。本人や家族に困り感がなく、支援に苦慮するケースが増えている。

(藤本相談支援専門員)

個別支援会議の内容は、母体施設の入所者の計画更新のための会議や、阿波市に就労継続支援B型事業所が開設されてことによる計画相談が多くあった。

家族が亡くなり本人の支援ができなくなったケースで、緊急でショートステイの利用を検討したが、契約等をしていないことで受け入れてくれる事業所がなかったことを課題に挙げた。(か-321)

#### **地域活動支援センター まいか**

(三宅相談支援専門員)

平成29年1月～12月までに開催された個別支援会議は延べ103回。

母体が精神科病院なので相談は精神障害者が多い。年齢は50～60代以上が多い。身体的には元気な方が多いので、介護保険への移行は年に1名程度。

アルコール依存症であるが病識のない方で、退院後はしばらく通院はしていたが、現在は通院ができていないケース(ま-128)について報告。今後も見守りや声かけを継続していく。話し相手が欲しい方のニーズに対し、社協のボランティアコーディネーターや精神保健ボランティアの活用につながったケース(ま-109)について報告。

#### **相談支援センター イノセント**

(田岡相談支援専門員)

相談は知的障害が多くて、精神障害や発達障害の方も知的障害を伴っている方が多い。また診断を受けていないが発達課題のある児童が増えている。支援方法は訪問、支援内容は福祉利用が多く、サービスに関する情報提供や手続きに関する支援が主。

平成29年1月～12月までに開催された個別支援会議は延べ91回。

特別支援学校を卒業後にグループホームを利用したいが、空きのあるグループホームがないケース（イー４３１）を課題に挙げた。本日は各関係機関が出席していただいておりますので、今後の事業展開をお考えの際には地域の状況等を踏まえていただき、グループホームの開設を検討していただきたい。

（三宅相談支援専門員）

平成２９年１月～１２月までに開催された個別支援会議は延べ９５回。  
就労継続支援Ｂ型事業所の受入れは可能であるが、送迎バスに空きがなく利用できないケース（イー１０２）を報告。

### **障害者就業・生活支援センター はくあい**

（真鍋就業支援ワーカー）

平成２９年１月～１２月までに開催された個別支援会議は延べ３３６回。  
障害者への就労支援をしている。支援内容は事業所への訪問、対象者の相談が主。  
今までも支援してきているが離退職を繰り返している方のケース（就ー５５）を報告。  
今後も職業センターと連携して継続した支援を進める。

### （３）各部会開催報告

美馬市・つるぎ町における地域課題について

（事務局 内藤）

資料を基に平成２８年までの継続課題と平成２９年度の新規課題を報告。

### **精神障害者支援部会（三宅相談支援専門員）**

- ・公営住宅に関する要望書の提出、困難事例の検討を行った。
- ・新規の訪問看護事業所より概要説明をしていただいた。
- ・地域課題の検討から、本人や家族に説明する際、住民や当事者への啓発も兼ねて相談内容に応じて使える精神障害者支援パンフレットの作成について検討を行う。

### **西部就労支援部会（木村生活支援ワーカー）**

- ・各市町村の優先調達状況報告と、就労継続支援Ａ型事業支給決定についての情報交換を行った。
- ・各事業所の課題について、グループ分けしての検討を行う。
- ・支援学校卒業生の就労継続支援Ｂ型利用のためのアセスメントについて、美馬・三好地域で統一した取扱いにするために協議、検討を行った。

### **福祉サービス部会（井河ソーシャルワーカー）**

- ・通院時の移動費助成について、要望書の提出についての検討を行った。
- ・地域課題についての検討を行う。（グループホームに空きがない、痰吸引できるヘルパー事業所が少ない、男性ヘルパーが少ない。）
- ・痰吸引に関するアンケートを実施することになり、内容についての協議を行う。

#### 相談支援部会（逢坂相談支援専門員）

- ・美馬市包括支援センターを招き、介護保険制度の説明、情報交換を行った。
- ・地域生活支援拠点、障害福祉計画について自立支援協議会としての関わり方について協議を行う。
- ・平成29年度相談支援従事者指導者養成研修会の報告。
- ・くらしサポートセンターを招き、生活困窮者自立支援事業についての事業説明、情報交換を行った。
- ・阿波半田年金事務所を招き、障害基礎年金についての説明をして頂いた。

#### こども部会（田岡相談支援専門員）

- ・特別支援教育就学奨励費の実施に関する要望書について、美馬市教育委員会より平成30年度以降の予算に挙げるように協議すると回答をいただいた。
- ・子育てに関するアンケート調査について、課題の抽出、今後の方針について協議を行う。
- ・相談支援体制の機能強化として、相談を受ける側が共通理解のもと、スムーズに情報を提供したり、必要な機関に繋ぐことができるようにパンフレットを作成することになった。今後具体的な協議を行う。

#### （4）質疑応答

- ・質疑応答に先立ち、美馬市役所長寿・障がい福祉課内藤氏より、美馬市・つるぎ町において、平成30年度からの新たな計画、障害者計画、障害福祉計画、障害児福祉計画を策定しており、現段階においての素案について説明。
- ・質疑応答なし

#### 4. 閉会

（つるぎ町役場福祉課 二宮課長）

（午後2時50分閉会）